

2014 年度からの中級日本語担当者として

日本語教育センター員
藤田 恵

○藤田 藤田です。よろしくお願いします。私は、春学期に中級日本語Aを担当しまして、三浦さんに TA さんとして入ってもらいました。今日は中級日本語Aの中で、三浦さんにどのように授業に関わってもらったか、そして、関わってもらうにあたって私とどのような打ち合わせをしたか、そして三浦さんは授業の中で、どのように担当した部分を進めていったかということをお話ししたいと思います。

まず中級日本語Aの授業概要ですが、火曜日の1、2限に新座キャンパスで開講していました。履修学生は、7名でした。先ほど丸山先生のお話にもありましたが、全ての科目がJ4、5、6にプレイスされている学生です。そして中級日本語Aは読解を軸として授業活動を行っています。春学期扱ったテーマは三つです。観光地、祭り、江戸しぐさというテーマを扱いまして、このテーマの読解を読んで、色々な授業活動をしていきました。【スライド④-2】

では、どのような授業活動を行ったかといいますと、まず宿題として、読解教材を読んできてもらいます。この読解教材というのは、レベルが三つの学生がいるわけですから、レベルごとにあったものを用意しています。どのように違うかといいますと、まず下の学生用には、語の調整がされています。そして、ルビを全部ふっています。上の学生用には、そのまま生教材として渡しています。そして適宜使えるように、英語の訳と日本語能力試験のレベルが入った語彙リストを添付しています。そしてその教材を読んで来てもらって、授業の中でまず一番初めに行うのは、文章内容の確認です。ワークシートなどを用意して、それを行っています。その内容に関する発表を、個人もしくはグループで行ってもらっています。その後、ディスカッションを全体もしくはグループでもってもらっています。テーマ1とテーマ2は、更に作文も書きます。この作文なんですけど、一回書い

て提出するというだけでは終わらずに、こちらが添削したものを戻してもう一回書く、リライトまでさせています。このような授業活動を行っていました。【スライド④-3】

TAさんの業務なんですが、私は中級日本語のTAを将来の教員として捉えていましたので、教員の卵として、授業に参加してもらいました。実際にどのようなことを行ってもらったかといいますと、まず教材作成の補助、課題添削の補助、フィードバックの補助、更に履修学生のレベル差への対応、発表する時のモデル発表ですね。更に授業活動におけるファシリテーターの役割を担ってもらっていました。上の二つはどちらかという授業の外でお願いしているところで、下の部分は授業の中でお願いしたことになります。【スライド④-4】

このような業務を実際先ほどの授業活動の中に入れてみますと、例えば読解教材を作るにあたっては、ルビふりをお願いしました。文章内容の確認をする際には、履修学生からの質問に対して答えてもらったりもしていました。更に、特にJ4とJ6の学生はかなりこう、レベルが違いますので、J4の学生のそばにいてもらって、私が授業を進めるにあたって、ちょっと補足説明を個人的にしようというようなこともお願いしていました。発表の活動の際には、発表概要の説明などもしてもらって、更にモデルとしてもやってもらう。進行役もお任せして、フィードバックもしてもらいました。ディスカッションも同じように、概要説明、進行役、フィードバックをお願いしました。作文では、私が添削したことを確認してもらって、そして全体のフィードバックをお願いしました。

こう見るとですね、かなり色々なことをお願いしたなど。私は何をしたかなという風にちょっと思っていたんですが、実際三浦さんをお願いすることを選ぶにあたりまして、まんべんなく色々なことを経験してもらおうという風に考えました。特に学期中に教員は色々やることあるんですけども、そこからかいつまんでコンパクトに、色々できるようになったらいいなと思って、選んでいました。

【スライド④-5】

次なんですが、先ほどの授業活動に関わってもらうにあたって、どのような打ち合わせをしたかということをお話したいと思います。まず学期前に、谷先生も一緒にいて頂いたんですが、コース全体、そしてTA業務についてお話ししました。そして毎回の時間の前に簡単ですが、授業内容について話したりもしました。主体的に、三浦さんに授業に入ってもらおう部分があるときにはですね、メ

ールが中心になりましたが、もう少し詳しくやりとりをしていました。そして授業後には、振り返りをして更に次の授業の内容について。8月、7月でしたかね、学期後には、学期全体の振り返り、そして来学期に向けた反省会を二人で行いました。【スライド④-6】

まず、学期前打ち合わせについてですが、そのときにどのようなことをお話ししたかと言いますと、まず授業には遅れないでくれ、そしてよっぽどのが無ければ休まないでくれと。当然のことではあるんですけども、チャイムと同時に来るというのではなくて、やはり教員としては、授業の準備の時間が必要になりますので、もう少し前に待ち合わせ時間を設定しまして、その時間に来てほしいという風に言いました。更に、一度だけではなくて、毎週毎週それをやるわけですから、その学期を通してやってね、というようなことをお願いしました。そしてもう一つ大切なこととして、教員というのは、履修学生の個人情報を扱う立場にあります。ですから、TAさんとして授業を進めてもらうにあたって、もしかしたらそういうものを手にしたり、耳にしたりすることがあるかもしれません。ですから、いずれ教員となる時にはですね、そういう立場になるわけですから、個人情報の扱いには気をつけてね、というようなことを学期前にお願いしました。

【スライド④-7】

次に、授業前の打ち合わせですけれども、春学期、特に頑張ってもらいたいなと私が思っていたのは、学生に見せる資料の作り方です。三浦さんに、主体的に教壇に立って授業をお願いしたのは三回だったと思います。毎回15分か20分程度お願いしたのが三回です。資料をその時に毎回作ってくるようにという風にお願しました。私からTAさんに渡す情報を三回の間にだんだん減らしていくように考えてみまして、まず、一回目はすべての情報を渡しました。このすべての情報というのはですね、実際三浦さんはパワーポイントを学生に見せながら、やってくれたんですけども、パワーポイントに載せる情報をまるっと渡して、このように進めたらいいんじゃないかなということを行いながら、進めていきました。二つめの、目標と情報の一部というのはですね、まず私が学生に配付予定のハンドアウトを渡して、三浦さんにはそのハンドアウトを使って進める時のパワーポイントを作ってもらいましたので、全部というよりも、そこから自分でかいつままないといけな。このように進めたらいいんじゃないかなということも言いつつ、そしてこの活動で学生にどうなってほしいのかという目標も伝えました。最

後の三回目は、学生にこういうことができるようになってほしいという目標だけを伝えるだけにして、あとはじゃあお願い、という風にしていました。【スライド④-8】

二つ、学期前と授業前について取り上げましたが、このような打ち合わせをして、実際に三浦さんがどのように進めてくれたかというのをご報告したいと思います。まず、授業に遅れない、休まない、そして履修学生の個人情報についてお話ししましたが、これは将来の教員として必要な心構えを学ぶことに繋がったのではないかと、私は思っています。実際に三浦さんは、無遅刻無欠席で来てくれました。待ち合わせにぎりぎりに来るのではなくてですね、もう少し早く新座キャンパスに来ていて、どうしてって聞くのも変なんですけれども、話している段階で、通い慣れている池袋ではなくて、新座キャンパスであること、また電車が遅れた時に、それに対応できるようにもう少し早くキャンパスに来ていたということでした。また、自分が作った資料をコピーする必要がある時にはですね、更にもっと早く来てコピーしてくださいと頼むように、ちゃんと来てくれていました。これは全部自主的にやってくれたことですね。もう一つ、どのようなものが個人情報にあたるのかというのも書きましたけれども、例えば皆さんは、どのようなものが、学生の個人情報になると思いますか？例えば成績とかテストとか、それだけではなくて、出した宿題とかレポートとかもそういうものにあたると思います。手にする紙だけではなくて、教員同士で話すこと、教員でしか知りえないようなことも個人情報になりますので、こういうのが個人情報になるんだよ、というのを見たり聞いたりする場面があった場合に、学期を通して都度説明するように心がけていました。このようなことは、一回だけではなく、継続的にずっと学期中やった、毎週毎週繰り返し替えしやったということが大きな学びに繋がったのではないかなと考えています。【スライド④-9】

もう一つですが、春学期の課題として、資料の作り方を頑張ってもらいました。これは、授業の運営を実際に経験するという風に言えるのではないかと思います。自分で作った資料を学生に配付して、それを使って自分で説明する。それで学生の反応を教壇から見るわけですが、三浦さんはその場で、まず学習者の日本語習熟度を知ることができたのではないかと思います。更に学生に提示する情報の選別、また提示の方法も改善されていったと思います。実際、1、2、3と三回やってもらいましたけれども、回を追うごとに、色々いい点が増えていきま

した。単純な所で言いますと、こうつらつらつらつら長い文を初めはパワーポイントの中に書いていたんですけども、キリのいいところで改行していく。もしくは、一枚のスライドの中の文の量ですとか、あとは、こちらが一方向的に全部を説明するのではなくて、学生が考えさせる何かクイズみたいなものを作ってみるですとか、そういうものがどんどん増えていきました。三浦さんが説明してくれた後に、私が必要に応じて補足説明をしていったんですけども、その補足説明の量がだんだん減っていったなと思いました。

最後ですけども、気づきの質と改善の意欲、これが向上したなというのを感じました。まずはじめの気づきの質ですけども、初回ではどちらかというと、こういうところをもっとこうすればよかったんじゃないというのを、私から結構積極的に言っていました。ですが最後に行くに従って、もっとこうすればよかった、こうすればよかったというのを自分からどんどん気づいていけるようになったと思います。もう一つの改善意欲ですけども、これはもう本当に、私が一番成長したなと思ったところでして、学期が始まってすぐくらいに、作文のフィードバックをやってみないかと三浦さんに言ってみました。だけど学期が始まってすぐということもあったので、もうちょっと先生の進め方を見てみたいですよという風に言われたんですね。ですからその時は私がしました。学期の中盤になって、作文の2の方のフィードバックをお願いしたんですが、それが終わった後に、自分自身でちょっと反省するところがいっぱいあったようで、もっとこうすればよかった、こうすればよかった、先生、次もやらせてください、という風に自分でよりよくしたい、更にそれを実行したいという気持ちを表すようになりました。このようなこともとても大切だなと思いますし、また中級のTAさんはそれをできる機会があるというのも大きいなと思いました。一回限りではなくて、改善して実行する機会をもらえるというのも、とても中級TAのいいところではないかなと思いました。【スライド④-10】

ここまでが春学期、私の実践して思ったことなんですけれども、秋学期に向けて二つ課題をあげます。まず一つは、口頭説明の方法です。春学期は資料作りの方に力を入れてもらいましたので、それを使ってどのように説明するのかといった打ち合わせ、もしくは私からの指導というのが少なかったかなと思います。秋学期は履修学生の日本語習熟度にあった言葉づかい、もう一つ、伝達する情報の取捨選択といったようなことができるように進めていけたらなと思います。もう

一つは、提案というか、皆様にぜひお知恵をお借りしたいところでもあるんですが、評価の方法についてです。評価の方法についてというのは、履修学生のパフォーマンスをどう評価するか。活動によっても違うとは思いますが、私自身教員になってすぐの時に、評価、成績ですね、例えばひとつひとつの作文ですとか、ディスカッション、発表といったところを、どう点数をつけていいのかというのがすごく難しく感じたところでした。ですので、せっかく授業に深く長く入っているわけですから、ぜひこの部分、何か関わっていただけらなと思っています。でも実際、履修学生の個人情報にとっても関わる場所ですので、やり方を慎重に考えていく必要があるなと思いますが、将来教員になりたい中級のTAさんの特性にもあっていますし、何かいい方法を見つけて検討していきたいなと思っています。私からは以上です。ありがとうございました。【スライド④-11】

【スライド④-1】

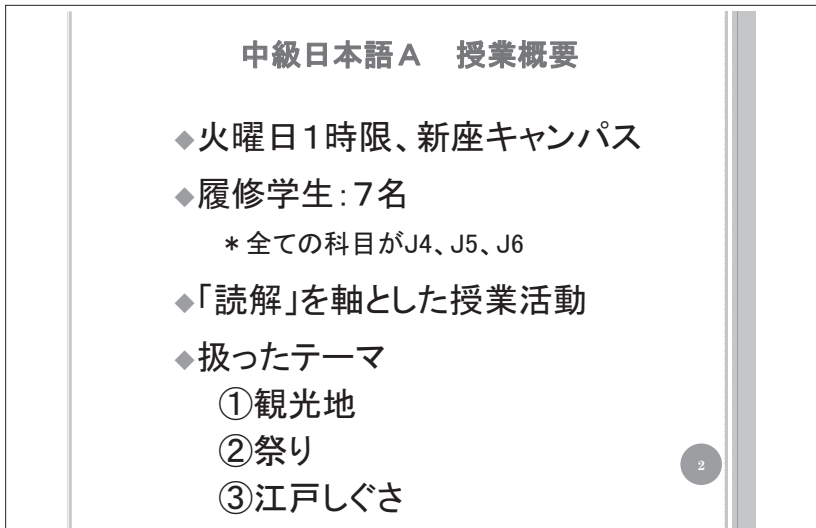


2014年度からの中級日本語担当者として

2014年度 春学期
中級日本語A担当
藤田 恵

立教日本語教育実践学会 パネルディスカッション
2014/09/17 立教大学 池袋キャンパス

【スライド④-2】

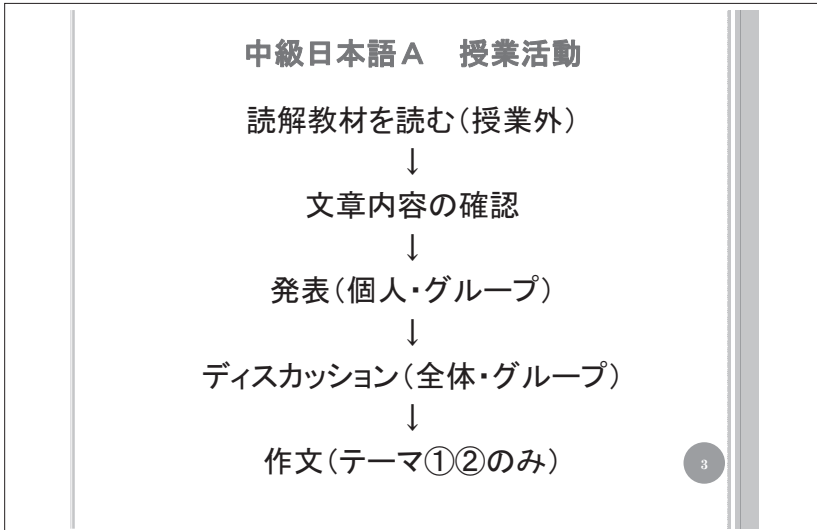


中級日本語 A 授業概要

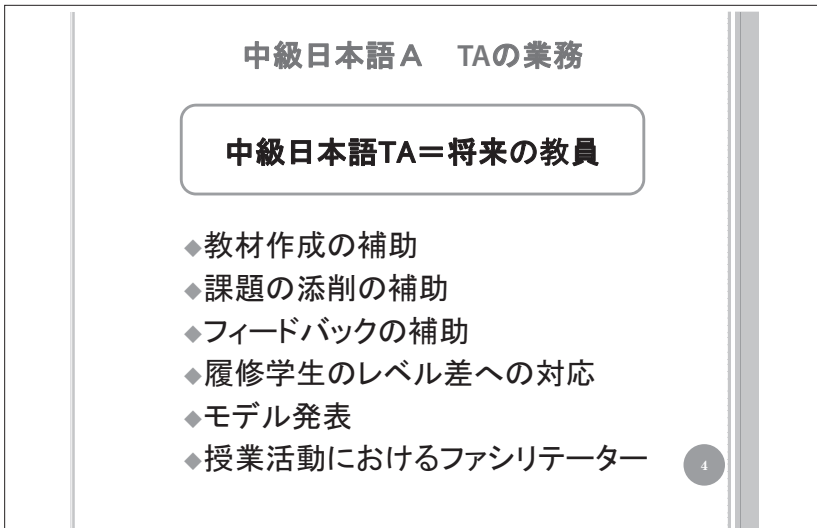
- ◆火曜日1時限、新座キャンパス
- ◆履修学生:7名
 - * 全ての科目がJ4、J5、J6
- ◆「読解」を軸とした授業活動
- ◆扱ったテーマ
 - ①観光地
 - ②祭り
 - ③江戸しぐさ

2

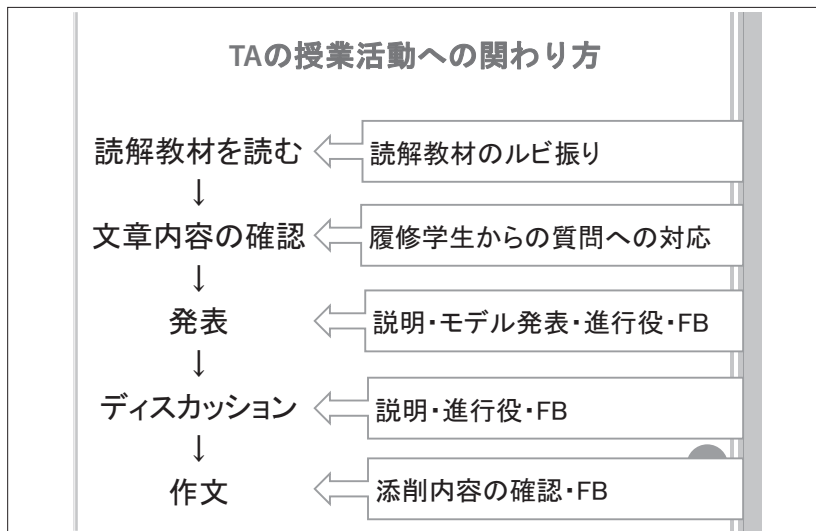
【スライド④-3】



【スライド④-4】



【スライド④-5】



【スライド④-6】

- 事前準備： TAが授業活動に関わるにあたって**
- ①
- ◆ 学期前： コース全体、TA業務について
 - ◆ 授業前： 授業内容について
 - ◆ 授業後： 振り返り
 次回の授業内容について
 - ◆ 学期後： 学期全体の振り返り
 来学期に向けた反省会
- 6

【スライド④-7】

事前準備： TAが授業活動に関わるにあたって
②

◆学期前打ち合わせ

- ・授業に遅れない、休まない
⇒一度きりではなく学期を通して
- ・履修学生の個人情報について
⇒教員は、履修学生の個人情報を扱う立場

7

【スライド④-8】

事前準備： TAが授業活動に関わるにあたって
③

◆授業前打ち合わせ

- ・春学期の課題： 資料の作り方
【教員→TA】
 - ①全ての情報
 - ②目標と情報の一部
 - ③目標のみ

8

【スライド④-9】

実践報告： TAの授業への関わり方を見て①

授業に遅れない、休まない
履修学生の個人情報について



(将来の)教員として必要な心構えを学ぶ

- ・無遅刻、無欠席
- ・どのようなものが個人情報にあたるのか

9

【スライド④-10】

実践報告： TAの授業への関わり方を見て②

春学期の課題： 資料の作り方



授業運営を実際に経験する

- ・資料や説明方法に対する学生の反応
 - 学習者(履修学生)の日本語習熟度
 - 学生に提示する情報の選別、提示方法
 - 気づきの質、改善意欲

10

【スライド④-11】

課題： 秋学期に向けて

◆ **口頭説明の方法**

- …履修学生の日本語習熟度にあった言葉づかい
- …伝達する情報の取捨選択

◆ **評価の方法**

- …履修学生のパフォーマンスの見かた